

発表日時 平成25年11月15日  
所属 教育委員会事務局文化財保存課  
担当 記念物・埋蔵文化財係  
電話 0742-27-9866

平成25年11月15日（金）に開催されました、国の文化審議会（会長 宮田 亮平）において、史跡名勝天然記念物等の指定の答申がおこなわれました。そのうち奈良県に係るもの（3件、特別史跡 藤原宮跡（追加指定）、史跡 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳（追加指定及び名称変更）、史跡 大安寺旧境内附石橋瓦窯跡（追加指定））について、お知らせします。

#### 特別史跡の追加指定 1件

1. 名称 特別史跡 藤原宮跡（ふじわらきゅうせき）
2. 所在地 奈良県橿原市高殿町・縄手町
3. 面積 既指定地 : 868,996.55 m<sup>2</sup> 追加指定地 : 3,975.00 m<sup>2</sup>
4. 概要 持統天皇8年（694）から和銅3年（710）まで営まれた古代の都城跡。藤原宮跡の中心部に位置し、約1km四方の区画内に内裏（だいり）・大極殿（だいくくでん）、役所群が建てられ、我が国の政治文化の中心として栄えた。今回、条件の整った部分を追加指定する。

#### 史跡の追加指定及び名称変更 1件

1. 名称 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳（けんごしづかこふん・こしづかごもんこふん）  
（旧名称）牽牛子塚古墳
2. 所在地 奈良県高市郡明日香村大字越
3. 面積 既指定地 : 409.00 m<sup>2</sup> 追加指定地 : 11,160.80 m<sup>2</sup>
4. 概要 牽牛子塚古墳は、墳丘周囲に石敷を有し、大王墓に多く採用される八角形墳である。その南東に新たな終末期古墳の存在が確認され越塚御門古墳と命名された。これらは、終末期古墳の様相を知る上できわめて重要であることから、今回確認された墳丘部分及び越塚御門古墳を追加指定し、名称を「牽牛子塚古墳・越塚御門古墳」に変更する。

#### 史跡の追加指定 1件

1. 名称 大安寺旧境内附石橋瓦窯跡（だいはんじきゅうけいだいつけたりいしばしかわらかまあと）
2. 所在地 京都府綴喜郡井手町大字井手
3. 面積 既指定地 : 754.57 m<sup>2</sup> 追加指定地 : 2,933.40 m<sup>2</sup>
4. 概要 大安寺は、東大寺建立までは国家の筆頭寺院であった。石橋瓦窯跡は、発掘調査の結果、大安寺に瓦を供給した瓦窯で、文献にみえる「棚倉瓦屋」である可能性が高く、生産地と供給地を発掘調査と文献史料の両面から考察することができる希有な例。今回、確認調査で瓦窯跡を確認した部分を追加指定する。